

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はなぐるま			
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 4日 ~			令和 6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 4日 ~			令和 6年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動を通じて楽しみながら人間関係の構築やルール、協調性等を学ぶことが出来る。	毎日必ず集団活動の時間を設け、他者と関わる時間が取れる様にしている。 1人では出来ない活動(遊び等)を日替わりで準備しており、楽しみながら他の児童と協力したり、折り合いを付けたりする体験を通して協調性を学ぶことが出来る。	更に多くの活動内容を準備し、児童が飽きずに取り組める環境
2	様々な体験が出来る。	家庭では難しそうなことや新しい発見が出来るようなイベントを企画する。 必ず成功出来る事ばかりでなく、結果がわからないような事にも挑戦できるような環境作りを行う。	常に児童の興味のある事等にアンテナをはり、できるだけ興味のある事にチャレンジさせてあげられる環境作りをいく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置によって児童がトラブルを起こしやすい時がある。	職員の児童を見る力に差がある。 知識や経験不足。	・毎回トラブルがあった際はその時の職員の対応等を振り返る。 ・研修等による知識や対応の仕方の習得
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス はなぐるま
------	------------------

公表日 令和 7年 1月 6日

利用児童数 令和 7年 1月 6日

回収数 16名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		1	・わかりません	個別の機能訓練室は確保できていますが、学習スペースと遊びスペースが一緒にスペース的には不十分かもしれませんがその中でも上手に学習、遊びが出来る様に児童と共に頑張っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	5		2	・わかりません	人数的には問題ありません
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	6		2	・わかりません	バリアフリーとは言えない環境ですが必要に応じて対応させて頂きたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	・移転して広くなつて良かった	毎日掃除を行っておりますが立地的に窓を開けると工場のスズが見えない程度に入ってきてしまい靴下等が汚れてしまいま
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			・子供に合わせて支援をしてくれていると思います。 ・STを受けてとても助かっています。	専門職として高い意識を持ちしっかりと子どもの特性を理解し接していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1				担当者会議等でニーズをしっかりと理解し、それぞれ児童に合った計画書が作成できる様努力していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				毎日の集団活動は児童の得意な事や苦手な事、様々な活動を通して児童の成長を促していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	6	2	1		他のデイ等と交流する機会はほとんどありません。ケガをさせた時の責任問題等の事もあり正直難しい問題ですが出来るだけ沢山の人と関わりが持てる様支援していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	3				利用者負担等に関しましてはご契約時に説明させて頂いていますが不明な点等がございましたらご連絡ください。
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					今後も個別でお時間を頂き計画書の説明を対応させて頂きます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3		5		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	14	2			・シンプルにわかりやすく説明して頂きありがとうございます。 ・日頃から相談にのって頂き子供の課題に対しても共通理解が出来てとてもありがとうございます。	今後も貴になる事があれば都度連絡させて頂き問題解決に取り組んでいきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3			・話を沢山聞いてもらい助言してもらつ	こちらから定期的に助言は行っていますが必要時はお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			・一番話を分かってもらえてありがとうございます。	今後も寄り添った支援が出来る様努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	3	4	・イベントに関してはわかりませんが兄弟の事でも話を聞いてもらっています。	ご家族さ

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1			・子供の特性を理解して対応して頂いています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	3				情報伝達は今まで通り管理者から書面等で報告させて頂きたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2				ホームページはございませんが毎月の新聞等で活動の報告をさせて頂きます。活動内容はYouTubeでも載せていますのでよければご視聴ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	2				守秘義務に則り今後も注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	6		1		緊急時の対応は各マニュアルを準備して対応しております。避難場所等の情報提供は今後も行なうことうと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2				4月と10月に避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					見守りや事前に危険予測を行なうべく事故等が起こらない様注意していますが突然的な怪我等が生じた場合は状況等を詳しくご説明させて頂きます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1				今後も怪我や体の不調の訴えがある場合は観察しご報告させて頂きます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1			・慣れたようで楽しく通所しています。 ・楽しく過ごしている	今後も児童が安心できる居場所作りに努めてまいりたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			・楽しく通っています ・いつも楽しく通わせて頂いております	楽しいばかりの空間ではございませんが、楽しい事も苦しい事も体験し成長を促せる様な場所であります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・STの実施、集団遊び、公共の場での活動と沢山の支援をして頂きありがとうございます。	安心してお子様を預けて頂ける様今後も精進してまいりますのでよろしくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス はなぐるま	※「わからない」との回答は「いいえ」に振り分 けます			公表日 令和 7 年 1 月 6 日
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	機能訓練室は個室を準備。できるだけ広いスペースを確保できる様収納等は工夫し、スペースを確保している。	店員数が満員の日は衝突が多い様に感じる。室内は動き回るのに限界がある為なるべく駐車場や近くの公園等の活用が出来る様にして
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	児童指導員の人数は適切な人数を配置している。学習等の支援は児童指導員以外の職員も協力している。	児童指導員の人数が最小限である為負担が多い面もある。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	入り口に階段があるが職員が付き添い対応している。	車いす対応は困難だが必要に応じてスロープの設置等対応していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日拭き掃除を実施。	学習スペースと遊ぶスペースがつながっている為学習に集中できない場面もある。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	暗室を設けており、児童にはクールダウンが必要な時はそこを使う様促している。	学習で集中できない時は機能訓練室を使っているが訓練室を使っている時は使用できないので集中できる環境作りが困難
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	5	月に1度児童の話し合いを実施している。	1人あたりに費やせる話し合いの時間が少ない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	会議等で共有しています。	今後もアンケート結果等を周知し、業務改善に努めたいと思います。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	会議や朝礼、終礼等で情報の共有を計り都度改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		外部評価を行って頂ける体制が出来ていないので、実施しているところを参考に改善していきたいと思います。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	施設内では管理者が研修を担当し毎月の会議の際にテーマを設けて実施しています。	外部研修への積極的な参加がまだ見られませんが、出来る限り職員の希望する研修を受けられる組織作りを行っていきたいと思います。
適 切 な 支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	施設内で支援プログラムの検討を行ったりし、それぞれに適したプログラムの作成が行えるように努めています。	公表手段が少ない。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	児発育がアセスメントを丁寧に行い、施設内で情報共有をしっかりと行い、職員の意見も計画作成に反映させています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	主に会議の際検討しています。その他にも問題がある場合は都度話し合いを行っているが全員が参加できない。	5領域等の新しい項目が増え、児童に関わる職員全員が理解しているかと言われば難しい所である。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	支援内容を職員がわかりやすい様に表にしたりしている。	共有はしているが送迎等の職員にまで共有されているかは不明である。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	5	ST対象者には検査等実施している。	病院等と連携し適切な評価を行っていきたいと思います。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4	児発育が率先し具体的な支援内容を作成しています。	職員全員に制度の理解等を周知できていない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	担当者が立案している。	現在少人数で立案している為、より多くの意見が反映される様心がけていきます。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	子供達の意見も取り入れつつ、飽きないよう工夫されている。	常に新しい活動がないかアンテナを張っていますがより多くの意見を取り入れ、様々な体験が行えるプログラムを作成いたします。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	児童それぞれに応じてスマールステップを意識し作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	職員間で適切な支援が出来る様指示がある。打ち合わせは実施できている。	朝礼等で役割分担等行っているが朝礼に参加できていない職員への指示が曖昧である。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	終礼時に問題点を共有し改善に取り組んでいる。	終礼時に振り返りは行っているが勤務時間の関係でその場にいない職員には伝わっていない事もある為翌日の朝礼時に再び報告する等改善を行う
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	児童の様子、変化を正しく記入し、支援の改善についても記入している。	記録の内容が支援目標に直接結びつかない所も多いので意識し記録していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	保護者の意見等取り入れ改善を行っている。	児発育を中心に実施しているがご家族と直接お話しする機会が少ない為そういう機会を増やしていきたいと思います。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	4	児発育を中心に支援内容を考え実践しています。	職員全体に「4つの基本活動」の理解が行き届いていない為研修等で改善していく。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自己選択できる様お菓子の購入等様々な取り組みを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	現場に出てる管理者が対応しています。会議の前には事業所内で会議を行いSTの状況確認等定期的に行っています。	管理者以外にも会議に参加できる様体制を改善していきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	出来る限り学校等に会議への出席をお願いし、足並みを揃えた支援が行えるようしています。	連携できていない学校もまだ多いです。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	事前に下校時間の確認をしたり、出来る限りトラブルが無い様ご家族様と調整している。	直接学校とのやり取りが出来ない学校もあり情報強共有が難しい所もある。下校時間が予定より20分以上遅くなる場合もある為学校との送迎時間の調整が必要な所もある。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	相談員を通じて情報共有を行っています。	現状相談員からの情報のみで対応しています。今後は直接保育園等とも情報共有していければと思います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	今まで対象者なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		日頃から連携がとれていない為、今後は必要に応じて積極的に関われる機会を設けていきたいと思います。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	外出先で地域の子が遊びの輪に入りたいと言つて来た場合はなるべく受け入れる様にしています。	特性等の問題もあり、怪我等した場合の責任問題等があり積極的にこちらから関わりを持つのは難しい現状です。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		全く参加できていません。機会があれば参加していきたいと思います。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日々連絡帳に記録し、送迎時にも保護者へ報告している。特別何かあった時は管理者から保護者へ直接連絡している。	直接のやり取りは主に管理者が担当していますが言葉の扱い方等で誤解を招く可能性もありますので今後も管理者を窓口とさせていただきます
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	管理者が個別に相談対応を行っています。	ご家族様発信の相談対応を中心に行っている為児童に必要な事があればご家族様と連携し研修や情報共有を積極的に行う。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	ご契約時に説明させていただいている。	契約時に説明するも説明量が多い為なかなか全てを理解できるご家族様は少ない。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	会議を行い出来る限り意向を反映させていただいている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1	個別でご家族様に時間を取って頂き児発育が説明させていただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	管理者が窓口となり相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		親子で参加できるようなイベントを企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情は管理者へ報告し早急に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	毎月デイの新聞を配布している。	配布物の内容がイベントの情報に偏りな内容を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	守秘義務を厳守しています。	個人情報の取扱いについては撮影等の許可も含めて入所時にとったままで定期的に取り直していきたいと思います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	2		最初の契約説明しその後は
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	地域の方への挨拶等は行いましたが行事に招待出来る規模の行事を実施できていない。	地域の話し合い等に積極的に参加し開かれた事業運営を図っていく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	各種マニュアルを準備しており研修等も定期的に実施している。	職員への周知は出来ているが保護者への周知は出来ていないので対応を考えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	BCPを年間研修にも取り入れ周知しており緊急時の連絡網等も設けている。	連絡網等は作っているが実際に練習で活用していない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	情報提供の時点で確認し、アセスメント等でも再確認して職員間で周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5	対象児は今のところないがアレルギーの有無はオヤツ作りをする際も文章で確認を促しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	6	定期的な避難訓練等実施。	掲示しているが周知できておらず存在を知らない職員もいる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	6		ご家族への周知は出来ておらず職員間のみで取り組んでいる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	全職員にヒヤリハットの記入を促し、全職員で確認する様にしている。また会議の際ヒヤリハットに関して対策等の話し合いを実施	まだまだヒヤリハットを書く判断基準がバラバラで些細な事ではヒヤリハットを挙げていない事もある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	毎月の会議で虐待防止委員会で話し合いをした事を職員に周知している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	必要な場合は相談員に報告し、支援計画に記載し対応している	